

今年もやります! 「共通金券プレゼントセール」

東海村商工会では、「買って使って支えよう みんなで 育む 東海村」を合言葉に、共通金券プレゼントセール事業を実施します。村内の商業・飲食・サービス店(82店舗で実施)で、500円お買い上げごとに1ポイントを差上げます。10ポイント集めると「東海村おすすめセクション」や各店舗で使える共通金券が当たる抽選に応募できます。村内の実施店で買い物をしてポイントのため、ぜひご応募ください。

7月11日(月)

期間▼~~7月1日(金)~~ ~ 12月31日(土)

実施店▼「共通金券プレゼントセール」の掲示(のぼり旗や店頭ポスター)のある店舗

抽選月▼8月から令和5年1月まで(毎月1回抽選、全6回)※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

内容▼▽特別賞…東海村おすすめセクション※(1本)▽1等…共通金券1万円分(3本)▽2等…共通金券3,000円分(10本)▽3等…共通

金券1,000円分(約80本)▽コロナ収束祈念賞…共通金券5,000円分(10本)※東海村おすすめセクションとは、村内で作られている魅力ある「おいしい」贈り物です。詳細は、東海村観光協会ホームページ(右QR(二次元コード)よりアクセス可)をご覧ください。

その他▼共通金券は東海村商工会で販売しています。贈答用などにぜひご利用ください。

問い合わせ▼東海村商工会(☎282-3238)

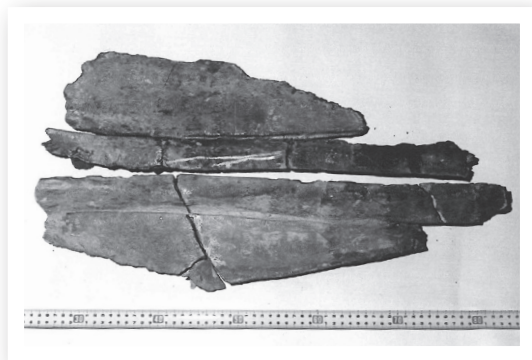


ふるさと歴訪 〜自然を探して〜 トウカイクジラ、凱旋!

現在、サツマイモ栽培が盛んな台地と稲作が盛んな水田地帯から成る東海村。今から300万年前の東海村がどんな様子だったか、皆さんはご存じですか。

その頃の東海村は、水深300メートルもある海の中。海の浅い所ではニシンの仲間やそれを捕食するサメたちが泳ぎ、深海の底ではウニの仲間や貝たちが静かに暮らしていました。その様子は、東海村に分布する当時の地層から産出する化石によって知ることができます。

東海村では、平成初期から本格的な自然調査を行ってきましたが、それ以前の昭和61(1986)年に村内の地層からクジラ(上顎の一部の骨)の化石が発見されたことがありました。当時、茨城県内で初めて見つかった「ヒゲ板を持つクジラの化石」として新聞記事にも取り上げられ、「トウカイクジラ」と名付けられて話題になりました。



【発掘された「トウカイクジラ」の標本】

「まる博マルシェ 化石から探る東海海底300万年」を開催します。今回、ミュージアムパーク茨城県自然博物館からトウカイクジラの化石を借りることもできました。「トウカイクジラ、ついに故郷へ凱旋!」です。この機会にぜひ歴史と未来の交流館を訪れ、トウカイクジラが生きた300万年前の東海村に、思いをはせてみませんか。

歴史と未来の交流館学芸員
野田美智子(ミシエル・ハーベル)

でした。県内でも貴重といえる化石だけに、所在の解明が急がれていました。

しかし最近になり、当時この化石を調査した研究チームと連絡が取れ、今年4月によく、この化石が「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」に収蔵されていたことが分かりました。東海村の太古の姿を語る郷土資料の所在が分かったことは、とても喜ばしいことです。

歴史と未来の交流館では、7月23日(土)から9月30日(金)まで、トウカイクジラが生きていた時代の東海村の謎に迫る企画展